

その一言が続ける理由になった ～若手指導員の本音～

1. はじめに

本誌の60周年を記念して、これからの職業訓練の担い手である若手指導員の本音を聞くインタビュー記事の連載をスタートします。「若手指導員の声」と題し、先輩からかけてもらった印象深い言葉や嬉しかった対応などをお聞きします。若手指導員とベテラン指導員の架け橋になることを期待しています。第1回では埼玉職業能力開発促進センターの清原 友仁 指導員にインタビューを行いました。

【清原 友仁 指導員のご紹介】

近畿職業能力開発大学校卒。初任地は関東職業能力開発促進センター。指導員歴は7年目。趣味は車とバイク。休日は家族と車でお出かけされるそうです。好きな言葉は「段取り8分」。

2. 近況

「技能と技術」誌編集部（以下「編集部」）

最近はどうですか、お忙しいですか。

清原指導員（以下「清原」）

ポリテクセンター関東の頃と比べると、担当する訓練数としては増えたので忙しいですが、関東でございましたのおかげで、割とやりやすくさせていただいています。

編集部 現在のご担当は？

清原 今メインの担当はデュアル訓練の機械加工エンジニア科ですが、機械系の科、全般にわたって担当しています。

編集部 好きな言葉は「段取り8分」なのですね。

清原 新人の頃、先輩から教わりました。初めて担当する訓練は「測定」だったのですが、訓練準備に結構時間を割かせていただいて、順調にできました。また、セミナーを担当させてもらう時に、しっかり準備に時間を取ると事がうまく進むんだな、と身をもって体験して、好きな言葉と言っているのか分かりませんが。身に刻まれた言葉です。

3. ポリテクセンター埼玉に勤務して

清原 小さい子供がいますが、子供が熱を出したとか、体調が悪いとか、病院に行くこともよくあって、そういう時に周りの人からサポートしてもらってやっています。休みも長く作ってもらえたり、協力してもらえそうな環境です。

業務では、セミナーのレベルが高いなと思います。汎用旋盤のセットコースは長いコースで、2条ねじを加工する課題などがあります。異動当初、「こんなことをセミナーでやるんだ。結構施設によってやることが違うんだな。」と感じました。セミナーの充足率も良いです。

編集部 何十年も前の話として、埼玉では、人気コースの募集当日は施設前に行列ができた聞いたことがあります。

清原 私もそれくらい評判の良いセミナーが担当できるように頑張ります。

4. 初任地での様子

編集部 新人の頃の困り事は？

清原 二つあります。一つ目は「何をしたらいいかわからない」という時期がところどころにあったことです。聴講したりさせてもらっていたんですが、先輩が訓練終了後、頑張っって作っていたものがあった、何かお手伝いしたいけれども、私は何も分からない。何もできない。でも、何かしたいけど、何をしたらいいんだろう、というのがちょっと不安なところでした。

編集部 なるほど、これは新人みんなが思うことかもしれませんね。

清原 二つ目は、例えばマシニングセンタや、NC旋盤などの聴講をさせてもらった後、一人で機械操作を練習しようかなと思っても、機械を壊してしまいそうという不安があって、なかなか練習に踏み込めなかった時期がありました。だんだん使っていくうちに、なんとなく自信がついて、ガンガン使えるようになってきたんですけど、最初はそこがすごく高いハードルだったかな、という感じがします。

編集部 少しずつ解消されたとお話がありましたが、例えば先輩からの助言やサポートなどがあって乗り越えられたのでしょうか。

清原 そうですね。その時先輩から、「やったら、やった分だけ失敗する。」と言われました。もうやったらやった分だけ失敗するんだから、どんどんやると。「失敗したくなかったら、唯一の方法は何もやらないことだ。」と言われました。その言葉で、失敗が許されるって言ったら誤解があるかもしれないですけど、失敗することも想定してやらしてくれてるんだな、というふうに感じて、安心していろいろできるようになりました。

編集部 失敗も想定しているから、どんどんやりなさい、と。失敗が許されないような時は、必ず先輩がいる時にやるよう声をかけるでしょうしね。そうじゃない範囲だから、自由にやっっていいんだよ、というメッセージに思えたっってということでしょうか。

清原 そうですね。そういうふうに言っっていただいたおかげで、失敗した時も先輩に、「これがこうなのは、どうしてですか」と聞きやすかったです。

編集部 他にも印象深い先輩の言動はありますか。

清原 先輩の行動で感化された事があります。朝、誰よりも早く機械を掃除してて姿です。私は先輩の背中を見て学ぶことが大事かなと思っています。大先輩が毎朝頑張っって掃除している姿を見ると、先輩から「あれやったら、これやったら」と言われるだけじゃなく、先輩もやってるから自分も頑張ろうと、自分を鼓舞するきっかけにもなっったと思います。

編集部 他に新人時代に困ったことは？

清原 作っみたい形状を加工してみると学びがあるよ、というアドバイスをいただいたんですが、私そういうアイデアを出すのあまり得意でなくて、結局、作れずに終わっってしまったっっていうのがあったんです。人によってはそういう方がテンション上がる人もあるとは思っんですが、ちょっと私個人的にはそういう完全フリーの状態でっっていうのはあんまり得意でなかった。

編集部 ある程度制約や、方向性を示してほしかっったということでしょうか。それも多くの新人の方が感じていることかもしれませんね。先輩としては、どこまで方向性を示してあげたら窮屈じゃないか、考えていたのかもかもしれませんね。

5. 理想の先輩像

編集部 どんな先輩になりたいですか？

清原 めちゃくちゃ忙しくても、ちょっと余裕があっって話しかけられる先輩がいいと思います。行動で見せて、相談にも乗れるような人っっていいなと思います。私の最初の施設の先輩が、皆さん行動で見せてくれる上に、話もすごく聞いてくれる先輩方だったので、私個人的にはすごくやりやすかったです。

私もそういうふうになれるかな、と考えた時に、たぶん先輩はみんな、結構裏ではいろいろ忙しかったりとかあっったと思います。気にかけて、話しかけやすい環境を作ってくれていたのかな、そういう状況だっただらうかなと思います。

今の私は初の転勤と子育てで余裕が無いように見られているかもしれませんが、少しずつ理想の先輩像に近づけるよう励みます。

編集部 お忙しいなか、ありがとうございました。